

阪急カラー(ビビットブラウン)

電車の車体の塗装色は、「コゲ茶色」と決まっていた。その理由は、ブレーキの鉄粉によるさび色を隠すため、パンダグラフからの摺動クズの汚れ対策などのためとされていますが、ブレーキ、パンダグラフもに技術革新が大きく進み、塗料の防汚対策も進歩し、車両の塗装色もそれほど厳しく対策をしなくて良いようになり、車体の色彩革命(?)が浸透して、電鉄各社は個性ある色を塗装するようになりました。

阪急電鉄は、各社が、「こげ茶色」の時代にあっただころから、塗装色を一步進めて、「チョコレート色 = ビビットブラウン」にして大好評を得ました。これが定着して「阪急カラー」とまでに言われるようになりましたが、反面、各社の車両がカラーフルになってきても、阪急は、企業カラーとして定着したために、これを換えることなく守りつづけ、鉄ちゃん仲間からは、面白みのない車両に思われています。

京都線の代表電車



宝塚線の代表電車



神戸線の代表電車

車両形状も、塗装色も変化に乏しい阪急カラー